

第2回 横浜市港北区地区センター指定管理者選定委員会 議事録	
日 時	平成30年8月1日(水) 9時30分～12時30分
開 催 場 所	港北区役所4階1号会議室
出 席 者	中村委員長、小宮山委員、坂田委員、白鳥委員、中森委員
欠 席 者	なし
開 催 形 態	公開(傍聴者3人) ※一部非公開
議 題	1 応募団体の面接審査 2 指定候補者の選定 3 その他
決 定 事 項	1 委員会の公開・非公開、評価基準については、第1回委員会で決定した内容のとおりとする。 2 株式会社有隣堂を横浜市城郷小机地区センター第4期指定管理者の指定候補者に決定する。 3 区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。
議 事	<p>1 応募団体の面接審査</p> <p>第1回委員会で決定されたとおり、面接審査までは公開とし、指定候補者の選定(採点・審議)以降は非公開としたうえで、応募団体(2団体)について、10分間のプレゼンテーション後、15分間の質疑応答を実施した。</p> <p>～ 以下、質疑応答の内容 ～</p> <p><b>【団体A】</b></p> <p>(委員長) ネット予約はいつから行っているのか。導入したことによって申込数は増加したか。また、利用の年代層はどのあたりになるか。</p> <p>(応募団体) 2年前から実施している。申込数は微増。年齢層には幅がある。現在は、ネット利用による申込7割、紙ベースの申込3割くらいとなっている。</p> <p>(委員長) 現在は、利用者がネット申込に切り替えている段階ということか。</p> <p>(応募団体) はい。</p> <p>(委員) 近隣は住宅が多いが、騒音などの苦情はないか。</p> <p>(応募団体) 苦情は特にない。</p> <p>(委員) (5)自主事業計画では、ラグビーW杯やオリパラに関連した企画の記載があるが、具体的にはどのような企画を計画しているのか。</p> <p>(応募団体) 区の計画もあると思うので、その点も踏まえながら企画したい。例えば、小規模なパブリックビューイングやパラスポーツ体験が考えられる。</p> <p>(委員) 緊急時の体制やスタッフの役割分担は、館内で分かるようになっているのか。</p> <p>(応募団体) はい。班体制を組んでいて、地域ケアプラザとは年に1回合同訓練を実施している。</p> <p>(委員長) 熱中症対策はいかがか。</p>

(応募団体) 館内は、体育館も含めて空調が効いているので、快適な環境でご利用いただけている。

(委員) (4)施設の運営計画にある、翻訳機の導入と防犯カメラの増設箇所について教えてほしい。

(応募団体) 翻訳機は今後導入予定となっている。防犯カメラは1階に増設予定で、不特定多数の来館者に対応する。

(委員) 2階窓側スペースが飲食可能となっているが、ごみの後始末はどうなっているか。

(応募団体) 利用者で持ち帰っており、マナーもよい。

(委員) 調理室の稼働率が低いが、どのように考えているか。

(応募団体) 他の部屋と比べて低いですが、市内で見ると稼働率は高いほうである。調理室を活用した自主事業も展開している。今後は、別の用途でも使用できるようにしたい。

(委員長) 自主事業の参加費の決め方や、工夫している点を教えてほしい。

(応募団体) 弊社では市内で6館運営しているが、副館長同士で年2回勉強会を開催し、情報交換している。あと、他の地区センターも見に行くなど参考にしている。

#### 【団体B】

(委員) 館内清掃はどのように行うのか。美化担当スタッフは配置するのか。

(応募団体) 清掃は業者委託とする。職員も館内を巡回しているので、その際にも対応できる。

(委員) (3)組織体制の研修について、苦情・クレーム対応研修は年1回ではなく、もっと行ったほうがよいのではないか。

(応募団体) 提案書では、集合研修の計画を記載している。そのほか、所属で行う研修、現場でのOJTを頻繁に実施し、推進していく。

(委員) 全館LED化、トイレのウォシュレット化とあるが、収支予算上どこに計上しているのか。

(応募団体) 修繕費から執行する。万が一不足する場合は、繰越金等で対応する。

(委員長) 施設の予約方法はどうするのか。

(応募団体) 基本は、来館しての抽選会となるが、ネット予約の準備も進めていて、業者にも照会している。利用者にはネット環境がない方もいらっしゃると思うので、ネットでも、直接来館する方法でも予約できるようにする。

(委員長) 指定管理業務開始と同時にネット予約が始められるか。

(応募団体) はい。現システムからの移行は速やかに行っていきたい。

(委員長) 現システムを使うのは難しいか。

(応募団体) 移行が前提だが、現システムと同内容にし、利用者の方には丁寧に説明していきたい。

(委員長) 自主事業の料金はどのように決めたのか。今後、料金変更も出てくるかと思うが、どのように対応するか。

(応募団体) 基本的には、現行のままとしている。基本的には継続性を重視し、今までの利用者に負担をかけないようにしていく。

(委員長) 自主事業数の提案をされた際に、利用団体との兼ね合いといった話があったが、今まで利用している団体にとってはよいかと思うが、新しい団体は入りにくいのではないか。新規団体に対しての工夫はどのようにされるのか。

(応募団体) 自主事業は利用者数が少ない日を選んで実施し、そこからグループ化されればその日に利用できる。新規団体に関しては、ネット予約が導入されれば、公平に抽選される。あとは、比較的利用の少ない曜日や時間を案内するなどしている。

(委員長) 利用団体へのコーディネートはどうしているのか。

(応募団体) 団体登録の際に面談を行っているが、その中で、利用しやすい時間帯や曜日を案内することで、部屋の利用に偏りがでないようにしている。それでも従来の団体と利用希望がバッティングすることもあり得るので、ネット予約で公平に行うなど考えたい。

## 2 指定候補者の選定

(1) 過去3カ年の貸借対照表・損益計算表から応募団体の財政状況が健全であることが確認された。

(2) 各委員より評価の考え方を述べた上で、それぞれの点数を各委員の評価にすることを確認した。

(3) 採点結果 (最低基準点は6割の450点)

団体名	採点結果
株式会社有隣堂	548点
一般財団法人こうほく区民施設協会	546点

750点満点中

最低基準点 450点 (6割)

最低基準点を満たしており、株式会社有隣堂が横浜市城郷小机地区センター第4期指定管理者の指定候補者として決定された。

(4) 委員からの審査講評

両団体とも、建設的な提案・意見を述べており、どちらが指定候補者に選定されても、運営を安心して任せられる提案内容であった。

こうほく区民施設協会は、次点候補者という結果にはなったが、今後も豊富な運営実績を生かし、新しい事業提案を続けられるよう希望する。

有隣堂は、次期指定管理者に決定した際には、現運営期間では実施していない内容に新たに取り組んでいただき、今まで以上に運営の質の向上を目指されるよう希望する。

	<p>3 その他</p> <p>(1)区長への報告書の作成、議事録の確認は委員長に一任する。</p> <p>(2)委員各位と応募団体との利害関係がないことを確認した。</p>
<p>資 料</p> <p>・</p> <p>特 記 事 項</p>	<p>1 資料</p> <p>次第及びタイムスケジュール</p> <p>2 特記事項</p> <p>なし</p>